

宅地造成及び特定盛土等に関する設計説明書

1	工 事 主 住 所 氏 名	〇〇会社〇〇〇 代表取締役〇〇〇 〇〇市〇〇町〇〇番地			
2	設 計 者 住 所 氏 名	〇〇会社〇〇〇 代表取締役〇〇〇 〇〇市〇〇町〇〇番地			
3	工 事 施 行 者 住 所 氏 名	〇〇会社〇〇〇 代表取締役〇〇〇 〇〇市〇〇町〇〇番地			
4	土地の所在地及び地番 （代表地点の緯度経度）	岐阜市〇〇町〇〇番〇及び〇〇番〇の一部 （緯度：00度00分00.0秒、経度：000度00分00.0秒）			
5	造成等を行う土地の面積	0,000.00平方メートル			
6	工事着手前の土地利用状況	農地：田 宅地：駐車場			
7	工事完了後の土地利用	宅地：建築物（宅地分譲）			
8	盛 土 の タ イ プ	平地盛土・腹付け盛土・谷埋め盛土			
9	土 地 の 地 形	溪流等への該当 有・無			
10 工 事 の 概 要	(1) 盛土又は切土の高さ	盛土0.00メートル			
	(2) 盛土又は切土をする土地 の 面 積	000.00平方メートル			
	(3) 盛土又は切土の土量	盛 土	000.00立方メートル		
		切 土	00.00立方メートル		
	(4) 擁 壁	番 号	構 造	高 さ	延 長
		擁壁1	RC構造	1.20メートル	15.00メートル
	(5) 崖面崩壊防止施設	番 号	構 造	高 さ	延 長
				メートル	メートル
	(6) 排 水 施 設	番 号	種 類	内 法 寸 法	延 長
		排水1	可変側溝	B30×H35～40 センチメートル	18.00メートル
		排水2	集水桝	B50×D50×H45 センチメートル	1基
		排水3	VP管	φ 15 センチメートル	1.00メートル
	(7) 崖面の保護の方法	擁壁（RC構造）			
(8) 崖面以外の地表面の保 護 の 方 法	[例1]芝張り [例2]崖と反対方向に排水勾配を設定				
(9) 工事中の危害防止のた め の 措 置	仮囲いにより第三者への災害防止を行う				
(10) そ の 他 の 措 置	工事中の雨水の処理として、沈砂池を設け水中ポンプにて区域外の側溝に流す				
(11) 工事着手予定年月日	許可日				
(12) 工事完了予定年月日	令和0年0月00日				
(13) 工 程 の 概 要	仮設工→掘削工→擁壁工→埋戻工→排水工→整地				
11	そ の 他 必 要 な 事 項	法定外公共物敷地占用・工作物新築等許可申請、 農地法第5条許可申請			

60進法で記載
（小数第二位を四捨五入）
※地理院地図による
計測方法
⇒ <https://maps.gsi.go.jp>

裏面参照

図面に番号も記載

みかけ高1m超の場合
に記載

図面に番号も記載

小数第三位を切り捨て

「6 工事着手前の土地利用状況」・「7 工事完了後の土地利用」の記載例

[例]農地：田

畑

採草放牧地

農業用施設（畜舎、温室 等） 等

[例]宅地：建築物（住宅、工場、宅地分譲、分譲住宅 等）

レジャー施設（建築物を伴わない）

太陽光発電設備

資材置き場

駐車場

駐輪場

残土処分場 等